

# 第25回 天文文化研究会

## The 25th Workshop on Cultural Studies of Astronomy



2023年7月9日（日）9時55分開始，17時頃終了

@大阪工業大学梅田キャンパス または オンライン参加形式

(2023-0705版 ver2)

本研究会のページ

<https://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/20230709/index.html>

### 会場参加の方へ

- ★ 会場は，大阪工業大学梅田キャンパス（大阪市北区茶屋町1番45号，6ページに地図あり）です。12階セミナー室1です。  
<https://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>
- ★ 氏名を1階エレベータ前の守衛室に届けてありますので，「天文文化研究会参加」としてカードキーを受け取ってお進みください。
- ★ 昼食は，21階にレストランもありますが，ご持参されることをお勧めします。
- ★ 夕方の情報交換会にご参加の方は，お弁当代4000円を現金でご用意ください。

### オンライン参加の方へ

- ★ Zoomを用いて双方向の通信をします。Zoomのアプリケーションは無料で入手できます。
- ★ アクセス先はメールにてご案内したものをクリックしてください。
- ★ 聴講される方は，質問されるときのみカメラとマイクをオンにしてください。ご発表される方は，ご発表中はカメラとマイクをオンにしてください。
- ★ 画面説明は，7ページにあります。

### Slack

- ★ 資料の共有などはSlackを 사용합니다。ウェブブラウザ（Safari, Google Chrome, MS Edge, Firefoxなど）上で使えますが，PC用のアプリケーション Slack（無料）をインストールした方が，使い勝手がよいです。
- ★ Slackのアクセス先は，招待状をメールで送信しておりますので，そこからアクセスしてください。『#第25回天文文化研究会20230709』というチャンネルを 사용합니다。
- ★ 資料の共有のほか，質問，感想，情報提供など，なんでも書き込みを歓迎いたします。
- ★ 画面説明は，7ページにあります。

Zoom, Slackとも有料化され，使い勝手が以前と比べて若干制限されています。Slackの今回の研究会チャンネルへのアクセスは8月末までといたします。

9:55 ご挨拶 Greetings

松浦 清（大阪工業大学，会場出席）  
Kiyoshi Matsuura (Osaka Inst. Tech.)

----- Session 1 -----

10:00 近世日本の天文観測機器を考える 【45分+5分】

On instruments on astronomical observation in early modern Japan

嘉数 次人（大阪市立科学館，会場出席）  
Tsuguto Kazu (Osaka Science Museum)

概要：江戸時代には、多くの観測機器が作られ、実際に観測が行われていたことが知られている。先行研究も数多くあるが、現時点では天文観測史研究は十分進んでいるとは言えず、さまざまな視点からのさらなる考察が必要かと考える。そこで、筆者が現在進めている天文観測機器に関する調査の紹介のほか、いくつかの話題を提供し、今後の天文文化研究会で取り組みを考えてみたい。

10:50 幕末期の彗星の測量精度 【15分+5分】

Accuracy of comet position measurements in the end of Edo period

北井 礼三郎（立命館大学，会場出席）  
Reizaburou Kitai (Ritsumeikan Univ.)

概要： クリンカーフーズ彗星、ドナティ彗星、テバット彗星の位置測量が、土御門家・江戸天文方・間家において実施された。それらの位置測量の精度を比較した結果を紹介する。

11:10 幕末期の彗星観測に見る土御門家の天文認識 【15分+5分】

Astronomy of the Tsuchimikado family seen in comet observations at the end of the Edo period

岩橋 清美（國學院大学，会場出席）  
Kiyomi Iwahashi (Kokugakuin Univ.)

概要： 國學院大学所蔵土御門家記録をもとに、クリンカーフーズ彗星やドナティ・ドナティ彗星が土御門家およびその周辺の人々にどのように認識されていたのかを分析します。本報告は北井報告をうけて、文系・理系双方の視点をもって研究することの有効性についても考えます。

11:30 オープンデータとOCRで天文記録をどこまで補完できるか 【15分+5分】

To what extent can open data and OCR supplement astronomical records?

玉澤 春史（東京大学/京都市立芸術大学，会場出席）  
Harufumi Tamazawa (Univ. Tokyo /Kyoto City Univ. of Arts)

概要： 現代のオープンデータと崩し字OCRを使用すると、既知の天文現象記録も再度検討することが可能である。テストケースとして「加茂社記録」のOCRデータを利用報告を行う。

11:50 奄美与論島の月にまつわる民間習俗—マックマと二十三夜待から【15分+5分】

A study on astronomical knowledge of the Chinese calendar in Yoron Island, Kagoshima prefecture

澤田 幸輝・尾久土 正己（和歌山大学，会場出席）

Kouki Sawada, Masami Okyudo（Wakayama Univ.）

概要： 与論島を含む奄美地域には、広く旧暦文化が残っている。その中でも本報では、与論島に特異な習俗と思われる「マックマ」の俚諺と二十三夜待に関する祭礼について報告する。

昼休み

----- Session 2 -----

13:00 宣教師による中国星座の同定について【30分+5分】

Identification of the Chinese constellations by Christian missionaries

竹迫 忍（日本数学史学会，オンライン）

Shinobu Takesako (Japanese Society for the History of Mathematics)

概要： 明末から清初にかけて中国で活動した宣教師たちは、精密な観測を行い中国の星座を同定し、星の数で西洋をしのぐ星表や星図を作成したとされているが、同定の精度は、渋川春海が小型の渾天儀を用いた同定より遥かに劣るとの評価がある。今回、宣教師による同定方法を解明再現し、その劣った原因が、西洋の星表を統合した星図をもとに同定したためであることを明らかにした。彼らが残した星図や星表は、彼らの観測によるものではなかった。

13:35 古世界地図と星図・天球図に関する未解決問題【30分+5分】

Research topics in the early world maps and the early star charts

真貝 寿明（大阪工業大学，会場出席）

Hisaaki Shinkai (Osaka Inst. Tech.)

概要： 江戸時代に日本に伝えられた世界地図の系譜について、前回の本研究会にて発表した内容についての追加と、天文関係図に関する話題を提供する。Hipparcos衛星のデータを用いて過去の星図と比較することにより、渋川春海は5等星まで、江戸後期には6等星までの星図が存在していたことも報告する。

14:10 熊楠のミクロコスモスとマクロコスモス【30分+5分】

Minakata Kumagusu's Micro-cosmos and Macro-cosmos

井村 誠（大阪工業大学，会場出席）

Makoto Imura (Osaka Inst. Tech.)

概要： 南方熊楠は粘菌の研究で知られているが、その著作活動は広く民俗学・博物学の分野に及び、また当時高野山官長であった土宜法龍との交流を通して、大乘仏教についても深く理解していたようである。本発表では、粘菌の研究や仏教への接近を通して熊楠が見ていた世界（生命観・宇宙観）の一端を垣間見たい。

Coffee Break

15:05 銀河鉄道から見たアルビレオ（仮）【20分+5分】

Albireo Observatory seen from the Milky-Way Railway

鳥居 隆（大阪工業大学，会場出席）

Takashi Torii (Osaka Inst. Tech.)

概要： 宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」に登場するアルビレオの観測所は何をモチーフにしているのかを考察します。

15:30 直径の語史とその周辺 【20分+5分】

History of the word "diameter"

米田 達郎（大阪工業大学，会場出席）

Tatsuro Yoneda (Osaka Inst. Tech.)

概要： 直径に関わる表現には、全径・圓径などがある。これらが、江戸時代末から現代に至るまでにどのように関係していたのかを探る。

15:55 源氏絵における「月」の視覚化 【20分+5分】

Visualization of "the Moon" in the Genji-Emaki

横山 恵理（大阪工業大学，会場出席）

Eri Yokoyama (Osaka Inst. Tech.)

概要： 『源氏物語』には「月下の垣間見」（橋姫巻）のように、『源氏物語』本文にも源氏絵（国宝源氏物語絵巻など）にも「月」があらわされる例がある。これら「月」の視覚化は作品ごとに異なるため、源氏絵制作者が『源氏物語』本文をどのように享受したのかを考える手がかりになる。本発表では、特に近世期の源氏絵を取り上げ、「月」がいかに視覚化されたかを検討したい。

16:20 TBA

To be announced.

松浦 清（大阪工業大学，会場出席）

Kiyoshi Matsuura (Osaka Inst. Tech.)

概要： 論考集第2巻の出版に関する話し合い。共同研究などの話し合い。

17:00 初日終了

情報交換会

（会場参加で交換会参加とお申し込みされた方のみ。レストランからお弁当）

参加登録者の方々（敬称略，五十音順） 7月5日現在 17+35=52名

## \*\*\*\* 会場参加 \*\*\*\*

(\*情報交換会も参加 13名)

井村 誠\* Makoto Imura  
 岩橋 清美\* Kiyomi Iwahashi  
 嘉数 次人\* Tsuguto Kazu  
 株本 訓久 Kunihisa Kabumoto  
 北井 礼三郎\* Reizaburo Kitai  
 楠 亮平\* Ryouhei Kusunoki  
 澤田 幸輝 Kouki Sawada  
 真貝 寿明\* Hisaaki Shinkai  
 玉澤 春史\* Harufumi Tamazawa  
 鳥居 隆\* Takashi Torii  
 西村 昌能 Masayoshi Nishimura  
 福富 和沙\* Kazusa Fukutomi  
 藤原 康徳\* Yasunori Fujiwara  
 松浦 清\* Kiyoshi Matsuura  
 横山 恵理\* Eri Yokoyama  
 吉田 薫\* Kaoru Yoshida  
 米田 達郎 Tatsuro Yoneda

小林 道生 Michio Kobayashi  
 清水 健 Ken Shimizu  
 田中 慎悟 Shingo Tanaka  
 神羽 麻紀 Maki Jimba  
 鋤柄 司 Tsukasa Sukigara  
 須磨 美予 Miyo Suma  
 高田 裕行 Hiroyuki Takata  
 竹内 裕美 Hiromi Takeuchi  
 竹迫 忍 Shinobu Takesako  
 田島 由起子 Yukiko Tajima  
 田中 良明 Yoshiaki Tanaka  
 丹野 佳代子 Kayoko Tanno  
 今野 利秋 Toshiaki Konno  
 永原 順子 Junko Nagahara  
 中村 一輝 Kazuki Nakamura  
 丹羽 愛一郎 Aiichiro Niwa  
 野澤 恵 Satoshi Nozawa  
 福江 慧 Kei Fukue  
 松尾 厚 Atsushi Matsuo  
 松岡 義一 Yoshikazu Matsuoka  
 松永 恵実 Emi Matsunaga  
 松本 啓史 Keiji Matsumoto  
 皆川 敏春 Toshiharu Minakawa  
 矢田部 健史 Takeshi Yatabe  
 山下 浩平 Kouhei Yamashita

## \*\*\*\* オンライン参加 \*\*\*\*

安達 照 Akira Adachi  
 荒木田 英禎 Hideyoshi Arakida  
 石澤 一志 Kazushi Ishizawa  
 今谷 拓郎 Takuro Imatani  
 薄 謙一 Ken'ichi Usuki  
 江口 璃奈 Rina Eguchi  
 岡崎 彰 Akira Okazaki  
 乙井 遼平 Ryouhei Otoi  
 勝俣 隆 Takashi Katsumata  
 甲田 昌樹 Masaki Kouda

## 大阪工業大学 梅田キャンパス (OIT梅田タワー) へのアクセス

<http://www.oit.ac.jp/rd/access/index.html>



### 所在地：大阪市北区茶屋町1番45号

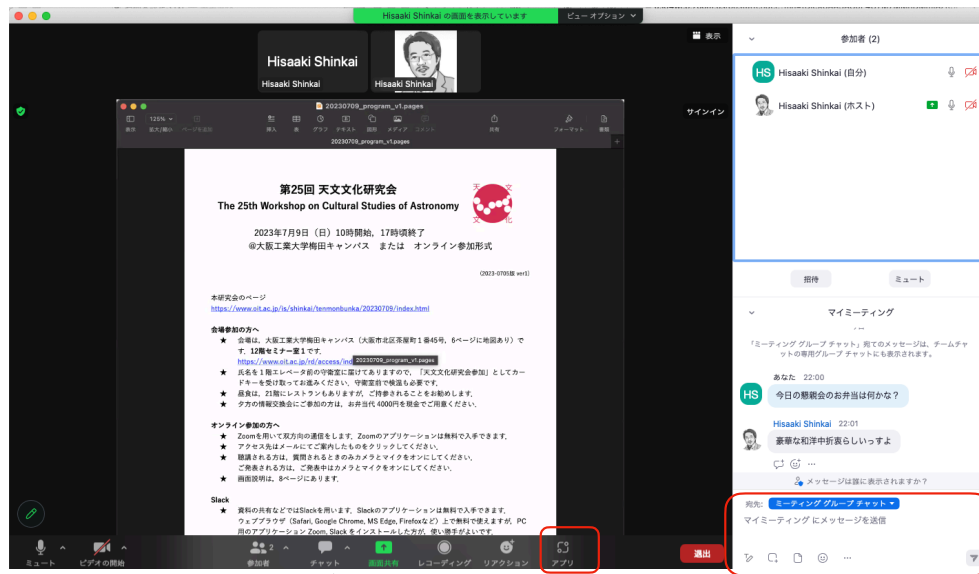
- ・ JR「大阪」駅から徒歩5分
- ・ 阪急「大阪梅田」駅から徒歩3分
- ・ 阪神「大阪梅田」駅から徒歩7分
- ・ 御堂筋線「梅田」駅から徒歩5分
- ・ 谷町線「東梅田」駅から徒歩5分
- ・ 【地下街からのアクセス（地下街直結）】

ホワイトティうめだプチシャンモールをプチ北広場まで進み、ヤンマー本社ビルH-2方向に曲がり地下道を突き当たりまで進む。（JR、地下鉄、各私鉄のすべての駅から雨の日も快適にアクセスできます。）

★入構時は、守衛室にて「天文文化研究会参加」としてご氏名をいただければ、入構に必要なカード・キーが渡されるようにしておきます。

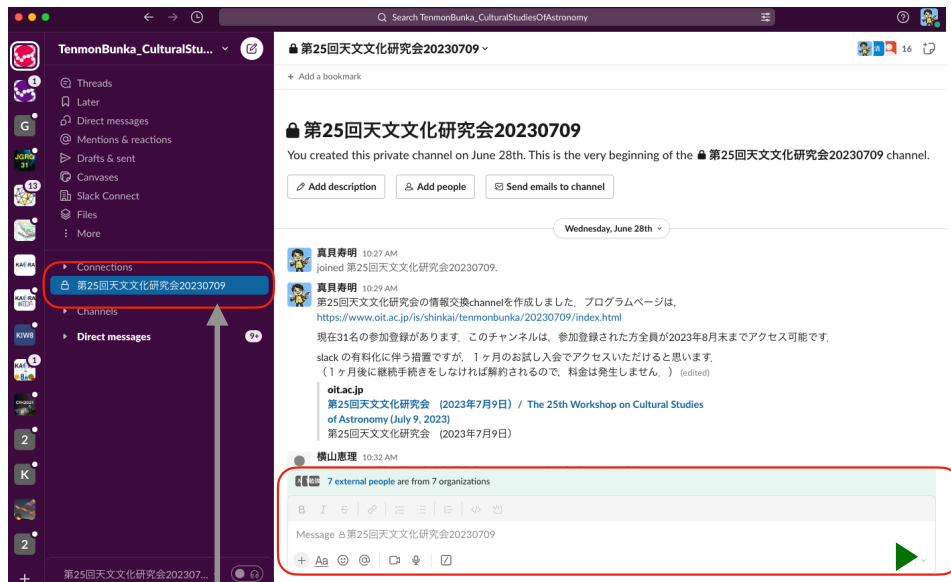
★会場は12階セミナー室1 です。

## Zoomの画面 (Macintoshの場合)



- (1)マイクのon/off
- (2)自分のカメラのon/off
- (3)参加者一覧を右に表示
- (4)チャット欄を右に表示
- (5)手を挙げるマークを出したり、拍手ボタンを押したりする。
- (6)チャットを書き込む

## Slackの画面 (Macintoshの場合)



チャンネルといいます。  
第25回天文文化研究会20230709 へどうぞ

ここにコメントを書いて、緑の三角ボタンを押すと投稿されます。あとから修正もできます。

---

ご案内

これまでの研究会の記録は

<https://www.oit.ac.jp/is/shinkai/tenmonbunka/workshop.html>

にてご覧いただけます。

---

ご案内

情報交換用にメーリングリストを作っております。

tenmon-bunka\_AT\_googlegroups.com

会員間の情報共有、本研究会のご案内などに利用しております。登録ご希望の方は、

真貝(hisaaki.shinkai\_AT\_oit.ac.jp)または横山(eri.yokoyama\_AT\_oit.ac.jp)までお知らせください。

---

ご案内

**松浦清・真貝寿明 編『天文文化学序説—分野横断的にみる歴史と科学』**

(思文閣出版, 2021年12月20日刊行, 定価 10,450円(税込), ISBN 978-4-7842-2020-5

<https://www.shibunkaku.co.jp/publishing/list/9784784220205/>

絶賛発売中。研究会参加者は、思文閣さんへの直接購入で20%引き!!

---

ご案内

次回の研究会は、2023年12月 を予定しています。